

岩手三陸復興の狼煙作戦便り N04 月号

2012年4月 支援活動

発行 2012年5月2日

4月29-30日 釜石市甲子町仮設住宅・三陸園・大松



4月28日初めて全員が顔合わせ、初対面でありながら、そこは医療関係者の仲の良さ。すぐ打ち解けて食後「乾杯」が終わった途端から明日からの支援の詳細の話が始まった。この日の宿泊はボランティア施設「東和の家」無料でした。学校跡ですが100人まで泊まれるそうです。



《歯科・医科連携チーム 三陸園・大松・仮設住宅》

三陸園

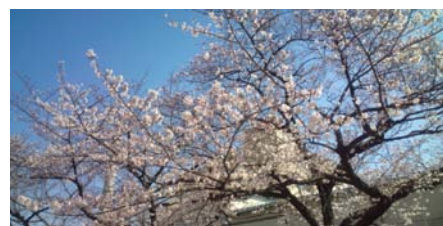
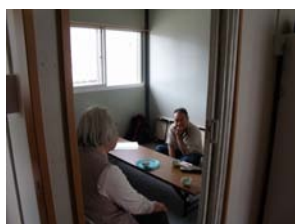


甲子町仮設住宅群を巡回

在宅支援の方も来ました



《ハンドリフレチーム 医師帯同 甲子町仮設住宅・さくら高齢者ホーム》



ハンドリフレチームの参加に医師が帯同した事で思わぬ効果が出てきた。津波被害を受けた人たちはどちらかというと、平地に近い所に住んでいました。それが、坂道の多い山間部へ急に移転したので、坂道の上がり下がり、膝に負担がかかるようになってきました。

今回病院から参加してくれた、理学療法士さんはリハビリ的な仕事が主なので、ハンドリフレ効果と、膝痛に対するアドバイスをを行い、相乗効果が出た。支援が終わって帰るときには、管理しているNPO団体の人からも、「今年中にもう一回来て下さい」という、期待を込めた言葉をもらいました。

岩手三陸復興の狼煙作戦

事務局：東京都墨田区墨田 4-2-4-201 03-3610-5950 佐々木龍夫